

事業実績シート

1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	平成 30 年度国際交流事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	大村市	企画政策部・企画政策課	松園 洋平	0957-53-4111
事業期間	開始年	平成 25 年 4 月 1 日 (5 年目)		
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	(開始日) 30 年 4 月 1 日 (完了日) 30 年 12 月 28 日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
(委託内容)				
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	大村市(市民等)		ホームステイや文化・観光交流等を通じて多文化への理解を深め、国際感覚の醸成を図る。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	1 ホームステイ派遣・受入 姉妹都市間で行っている学生のホームステイの相互派遣。 2 姉妹都市等の訪問団派遣・受入 姉妹都市を中心とした海外訪問団の派遣・受入 3 その他国際交流にかかる事業 市民の国際理解を深めるため、海外の文化等を紹介する講演会等。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	<p>これまで本市の国際交流事業を担ってきた(財)大村国際交流協会が平成 24 年 12 月に解散したことを受け、そこで行ってきた事業を市で引受け、すべて直営で行うこととした。</p> <p>しかし、民間レベルでの交流の広がりがなかなか見られなかったことから、多文化理解講座等の開催など一部の事業を民間に委託をしながら、市直営で行う事業と合わせて、国際交流の推進を図ることとした。</p>			
(経緯・現状)				
<p>平成 26 年 7 月 25 日より事業の一部を民間委託し、「官民連携型国際交流事業」という別事業を立ち上げ実施しているが、ホームステイ派遣事業は今後も「国際交流事業」として実施していくこととしている。</p>				

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		2,908,474	5,189,913	3,742,840				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	581,695	2,117,913	748,568				
	市町振興共同事業助成金	2,326,779	3,072,000	2,994,272				
	一般財源							
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	ホームステイの派遣者数	姉妹都市交流の一環としてホームステイ派遣を実施し、市民に参加してもらうことで、国際感覚の醸成を図る。	人	目標	8	8	8
					実績	8	7	7
				目標達成率(%)	100	88	88	
	②				目標			
					実績			
目標達成率(%)								

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+) 私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)
	(公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響
	妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 		(影響内容、程度等)

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)
	<input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		姉妹都市側の受入可能人数が減少したため。
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地		
	<input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由) 海外姉妹都市と事業実施に向けて相互協力を行っているが、国家間の事情や経済状況等により、相互ホームステイや公式訪問等が計画通り実施できない場合がある。
	実施予定 期 日		
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)	
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない			
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		姉妹都市協定に基づく相互訪問事業等、継続した国際交流を推進するため市の関与は必要である。
(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)	
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		ホームステイ派遣事業については、渡航費の1/10を受益者負担として徴収している。	

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営(一部事業)	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容					